

数学

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する

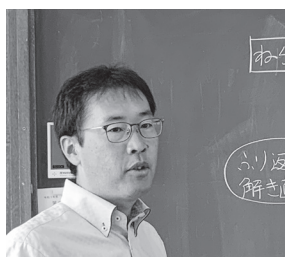
表題は指導要領数学科目標の柱書の文章です。次期指導要領の検討が進む中、この文章の意味を改めて見つめ直し、深い学びにいたる数学科授業の具現を目指していきたいと思います。



全県部長
小千谷市立片貝中学校
校長 山本 俊介

▶上越地区／柏崎市・刈羽郡中教研

深い学びを実現するために！



研究推進責任者
柏崎市立南中学校
大下 昇吾



教科・領域担当者
刈羽村立刈羽中学校
石澤 たえこ

授業時における先生方のこだわりを紹介し合い、目指す生徒の姿を共有するところからスタートしました。「深い学びの技法」を参考に、条件を変える活動を手立てとした授業を考えています。

▶中越地区／十日町市・中魚沼郡中教研

「全員参加型」で深い学びを！



研究推進責任者
十日町市立中里中学校
小島 啓介



教科・領域担当者
十日町市立中条中学校
小林 成夢

生徒一人一人が自らの考えをもち、主体的に学習に取り組むために有効な手立てを考え、研究を進めています。「全員参加型」の授業で深い学びの実現を目指します。

▶新潟地区／新潟市中教研

数学的な見方・考え方を具体的にします！



研究推進責任者
新潟市立白根第一中学校
細川 伸子



教科・領域担当者
新潟市立木戸中学校
宮井 誠

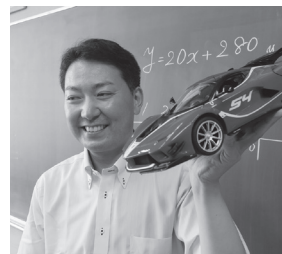
生徒が数学的な見方・考え方を働かせて数学的活動に取り組む授業を目指します。各単元、授業の中で働かせてほしい見方・考え方を具体的にした授業づくりを提案します。

▶下越地区／村上市・岩船郡中教研

活用・意味づけの段階へと進むためには！？



研究推進責任者
村上市立村上第一中学校
小松田 泰弘



教科・領域担当者
村上市立岩船中学校
佐藤 正実

推進委員会では活用・意味づけの段階を重点として、生徒自身が「(現実での) 納得解を出す」「数学と日常がつながっているという実感をもつ」ための課題設定について研究を進めています。